

TELOS iQ6

Six-line Broadcast LiveWire Phone System



概要

iQ6は最新のマルチライントークショーシステムです。6本の電話回線に対応、2系統のTelos第3世代のデジタルテレフォンハイブリッドはDymanicEQ、最新のエコーキャンセル機能によりオープンマイクの使用でもフィードバックを最小にします。

電話対応はVset6 PhoneSetの操作によります。PCからの操作にも対応、専用のスクリーンマネージャソフトXScreen Lite(英語版) 付属します。

音声入出力と制御のミキサーとの接続はLiveWireです。

LANケーブル1本でAXIAコンソールとiQ6が接続でき、フルコントロールが可能です。





アナログ電話回線 1~6

LiveWireポート

ユニバーサル電源入力

LiveWireポート

LiveWire音声入出力、制御対応。

Webブラウザで機器設定。

VSet6接続に使用。

LiveWire音声信号を使用しない場合は、市販のスイッチングハブ使用可能。

Vset6用にPoE機能の付いたハブがお勧めです。

iQ6 ネットワーク



VSet6 操作



MENUボタンでモード選択

Talent mode・・・通常モード。通話相手をオンエア操作。

Producer mode・・・スクリーニング用。オンエア操作。
オンエア中の回線は切断はできません。

回線ごとに状態を表示します。

Line10は回線名 (PCで設定)
電話番号102にダイヤル

電話番号101はオンエア中

Line Status Icons



回線使用可能



電話鳴った状態



回線をハンドセット接続。
ハンドセットで通話。

Line Status Icons



回線ホールド中



回線スクリーニング済ホールド中
次の接続表示



回線2がオンエア



回線1がオンエア、ロックされているので割込み不可。



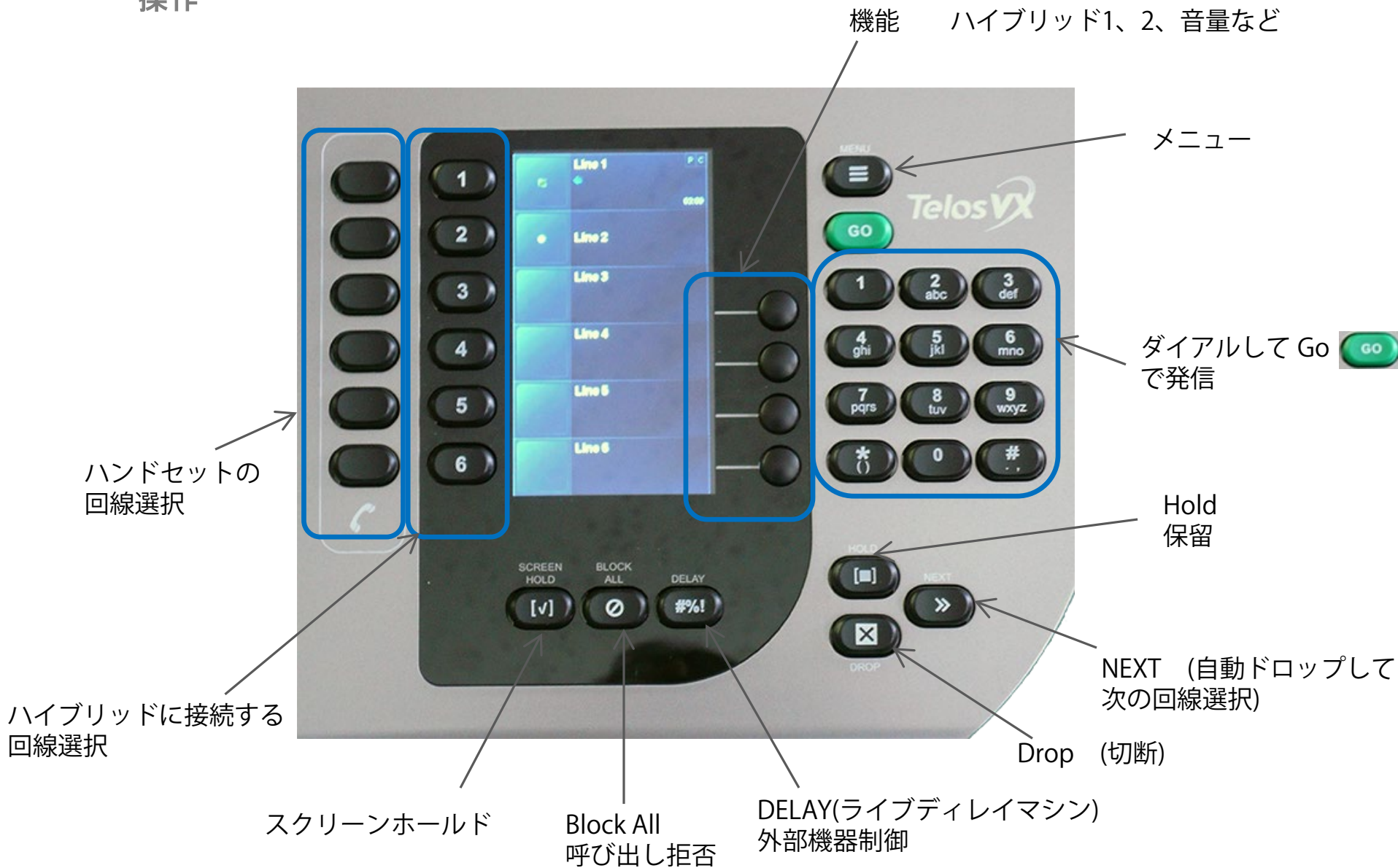
ダイヤル可 ハンドセットまたはハイブリッド1



ハイブリッド1に接続選択。デフォルト。

ハイブリッド2を選択して接続選択。

操作



ボタン機能

Hold Button

選択した回線をホールドします

Drop Button

回線を切断します

Lock

通常、他の回線を選択すると以前の回線を切断します
3者通話をする場合など切断したくない回線をロックします

Next

次の回線を選択、以前の回線を切断します

回線の優先度は

1. 最も長く待っているReady Hold (スクリーニング済)のコーラー
2. 長くホールド中のコーラー
3. 最も長く呼び出し中のコーラー

Block All

全ての回線を通話中のようにセットします

すでに接続した回線には影響しません

電話コンテストなどで、スタート前の呼び出しをブロックします

Numeric Button

ダイヤルボタン



複数のスタジオで共用

生放送スタジオ

iQミキサー
電話モジュール付



VSet6 (多機能電話)



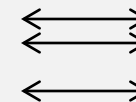
編集スタジオ

iQミキサー
電話モジュール付



マスター室

iQ6 Telco6回線ゲートウェイ(6 x 2電話放送装置)



電話回線x6



専用スイッチ xSwitch

マスターに設置したiQ6を複数のスタジオで使用できます。
電話回線は最大6本、コントローラーで回線選択。
ハイブリッドは2系統。
普段ハイブリッドは生放送スタジオで使用しますが、使用していない時に編集スタジオでも使用できます。
工事はシンプル。LiveWireケーブルのみで制御ケーブルなどは入りません。

電話回線について

<複数回線を使用したトークショーの場合の電話回線構成例>

5回線は代表番号で1ST/2ST切替。1回線は個別番号を割り当て
光回線をPBXを通して疑似アナログ回線にした場合は、ハイブリッドの打消し動作が不安定になる場合があります
PBXを通さないアナログ回線が推奨です。国別設定 60カ国以上。

